

製品名: YB1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02783**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、マウス、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 49 kDa

抗原情報

遺伝子名	YBX1
別名	YBX1; NSEP1; YB1; Nuclease-sensitive element-binding protein 1; CCAAT-binding transcription factor I subunit A; CBF-A; DNA-binding protein B; DBPB; Enhancer factor I subunit A; EFI-A; Y-box transcription factor; Y-box-binding protein 1; YB-
遺伝子 ID	4904
SwissProt ID	P67809
免疫原	ヒト YB1 の合成ペプチド

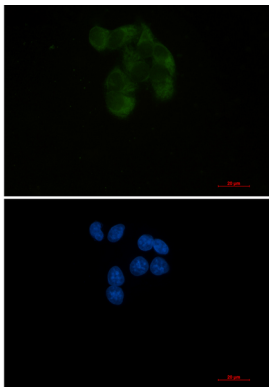
背景

この遺伝子は、広範な核酸結合特性を有する、高度に保存されたコールドショックドメインタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は DNA および RNA 結合タンパク質の両方として機能し、転写および翻訳の調節、pre-mRNA スプライシング、DNA 修復、mRNA パッケージングなど、多くの細胞プロセスに関与していることが示唆されています。また、このタンパク質はメッセンジャーリボ核タンパク質 (mRNP) 複合体の構成要素でもあり、マイクロ RNA のプロセッシングに関与している可能性があります。このタンパク質は非古典的経路によって分泌され、細胞外マトリックスとして機能します。この遺伝子の異常発現は、多くの組織における癌の増殖と関連しています。この遺伝子は、特定の癌における予後不良および薬剤耐性の予後マーカーとなる可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。この遺伝子の偽遺伝子は複数の染色体上に存在します。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

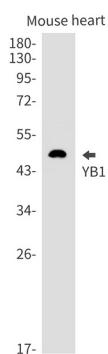
研究分野

タグとセルマーカー

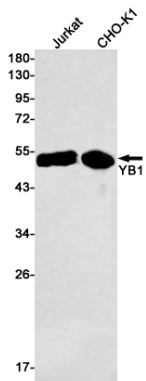
画像データ



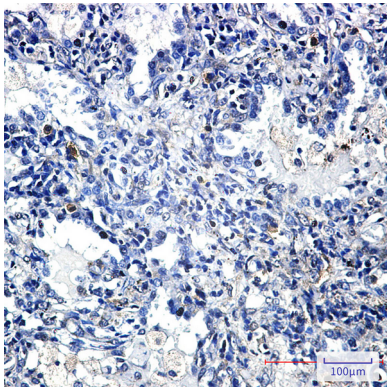
YB1 抗体と DAPI (青) を使用した HeLa 中の YB1 (緑) の免疫細胞化学分析。



YB1 抗体を使用したマウス心臓溶解物中の YB1 のウエスタンブロット分析。



YB1 抗体を用いた Jurkat、Hela ライセート中の YB1 のウェスタンブロット分析



YB1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。